

## 2021 年日本電子材料技術協会セミナーのご案内 「磁気メモリの基礎と最前線」

Society5.0 では、すべての「モノ」がインターネットに接続され、日々多くのデジタル情報が生み出されます。その社会を支える基幹技術として大容量メモリ・ストレージが挙げられ、各種材料の特性を活かしたデバイス開発がなされています。「不揮発性」という最大の特徴を持ち、さらにスピンという自由度も新たに加えた磁性体を用いたメモリ・ストレージデバイスも高度に発達しています。

本講演会では、これらを代表する企業・大学から講師を招き、高度情報化社会を支える磁性メモリ・ストレージの材料や基盤技術に関して考えます。

1) 日時： 2021 年 4 月 9 日 (金) 13:00 - 17:10

2) 場所： on line meeting

主催： 日本電子材料技術協会

協賛： 日本磁気学会

3) プログラム

13:00- 13:05 開会のあいさつ 明渡 純 日本電子材料技術協会 会長  
(国立研究開発法人 産業技術総合研究所)

13:05- 13:50 薬師寺 啓 国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
新原理コンピューティング研究センター 研究チーム長  
「磁気トンネル接合の材料開発と MRAM 開発進展」

13:50- 14:35 介川 裕章 国立研究開発法人 物質・材料研究機構  
磁性スピントロニクス材料研究拠点 主幹研究員  
「磁気トンネル接合のトンネルバリア開発による巨大磁気抵抗の実現」

14:35- 15:35 與田 博明 Spin-Orbitronics Technologies Inc.. CEO  
「MRAM 技術開発の現状、STT-MRAM 技術から最先端スピントロニクス技術まで」

休憩 15:35-15:50

15:50- 16:35 本多 周太 関西大学 システム理工学部 准教授  
「スキルミオン移動型のレーストラックメモリに向けて」

16:35- 17:05 宮本 泰敬 日本放送協会 放送技術研究所  
新機能デバイス研究部 主任研究員  
「超高速・長期保存をめざした磁性細線メモリー」

17:05- 17:10 閉会の辞 高橋 有紀子 日本電子材料技術協会 理事  
(国立研究開発法人 物質・材料研究機構)

17:15 意見交換会

意見交換会へのご参加予定 有・無

■本セミナーに関するご質問・お問合せ先：

日本電子材料技術協会 事務局 (相馬、木村) E-mail: [jems@jems1962.org](mailto:jems@jems1962.org)